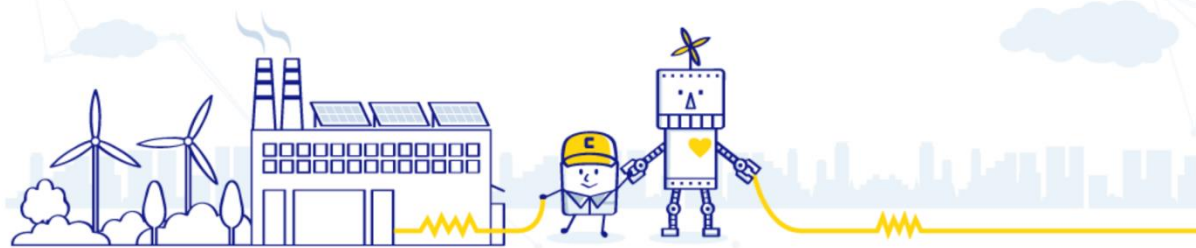


電気
デンキとデンキをつなぐ
COSEL



コーセル株式会社(証券コード:6905) 個人投資家向けオンライン会社説明会

ここに **COSEL**

コーセル株式会社

代表取締役社長 齊藤 盛雄

2024年8月27日

本日のご説明内容

1. 会社概要
Company profile

2. 事業内容
Our business

3. 成長戦略
Growth strategy

4. 業績動向
Performance trends

5. 株主還元
Shareholder return

1. 会社概要

Company profile

2. 事業内容

Our business

3. 成長戦略

Growth strategy

4. 業績動向

Performance trends

5. 株主還元

Shareholder return



会社概要

社名	コーセル株式会社 COSEL CO.,LTD.
所在地	富山県富山市上赤江町1-6-43
設立	1969年 7月 26日
資本金	60 億 42 百万円 (2024年 7月)
事業内容	電子機器、電気機械器具の製造及び販売
主要製品	直流安定化電源装置(スイッチング電源など)
売上高	414 億 37 百万円 (2024年5月期・連結)
従業員数	721名(2024年5月時点・連結)
グループ会社数	21社
上場市場	東証プライム [証券コード: 6905]
時価総額	約 450億円

社名の由来

1969年 7月、エルコー創立



エルコー株式会社

「**E**lectronics」で「**C**ontrol」
するものを事業の柱とする



1992年 4月、エルコーからコーセルへ



Co **O**rganization (調和・共同)
System (組織)
Electronics (電子技術)
Liveliness (快活な)

旧社名のエルコーを越す → コスエル → コーセル

経営理念



「品質至上を核に社会の信頼に応える」

私たちは、『品質至上を核に社会の信頼に応える』の経営理念に基づき、お客様からの信頼を得て、持続的成長を図ることで、社会に貢献し続けたいを考えております。

■経営理念を構成する5大要素

人財

▶ 当社教育方針に基づき、QCの実践力、高度な技術力、円満なる人格形成を目指して社業発展の原動力を育成する

技術

▶ ユーザーニーズを踏まえ、たゆまぬ新技術への挑戦と、他社の追従を許さぬ新製品開発力を培う

市場

▶ ユーザーニーズを先取りできるアンテナをはり、市場の要求品質を捉え、新製品開発に結び付ける

価格

▶ 経営資源有効利用を図り、製品企画の段階からコスト最小に挑戦し、価格主導権の確立を図る

納期

▶ Q(品質)・C(価格)と共にD(納期)を市場にマッチングさせ、製品・サービスの継続的な安定供給を図る

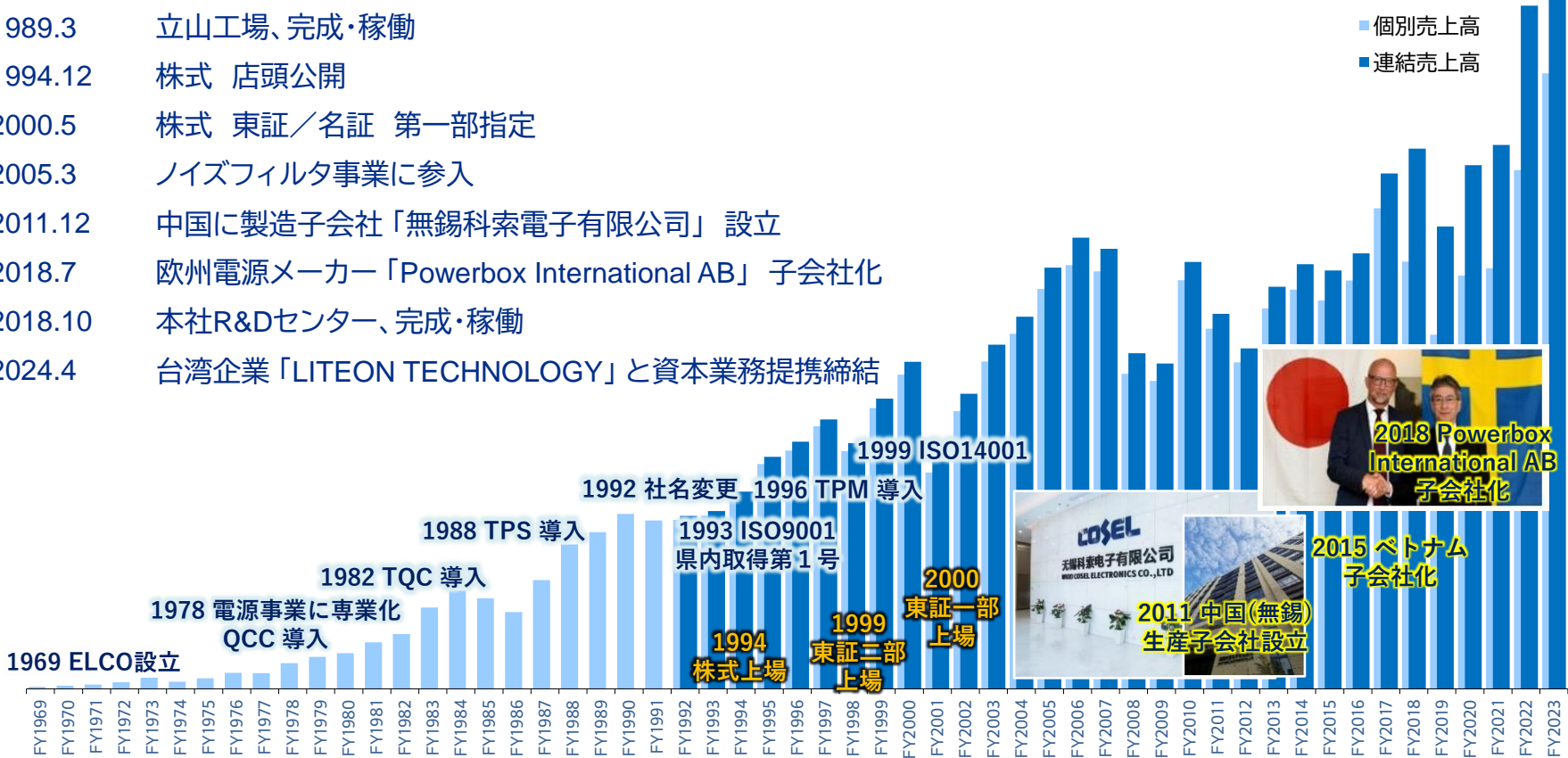
品質方針

顧客の信頼を得る 製品とサービスを創り出す

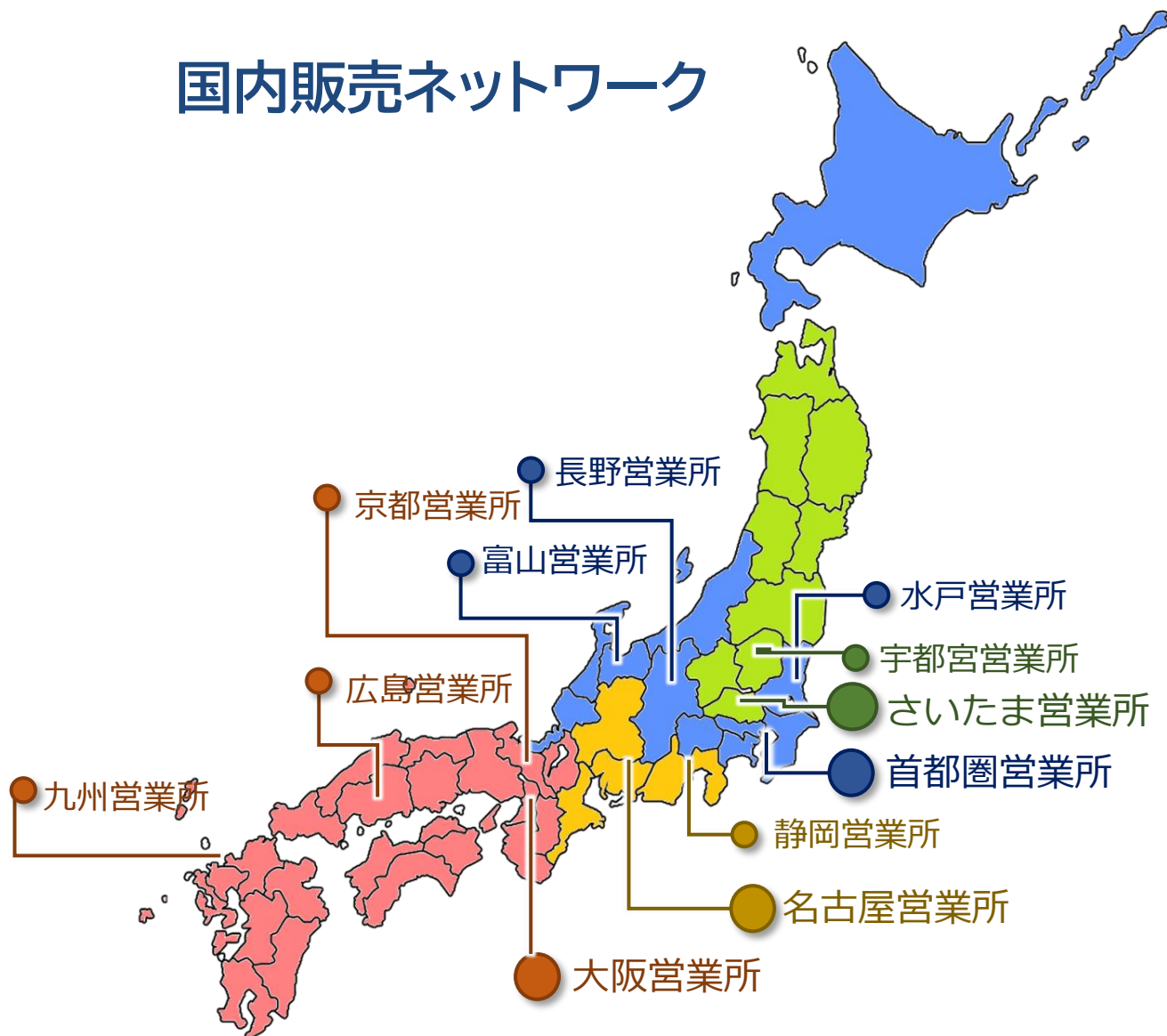
を品質方針とし、製品企画段階からユーザーニーズ、品質情報の収集・活用と信頼性管理による品質の作り込みを図る

- 1969.7 エルコー株式会社設立
- 1978.6 直流電源装置メーカーとして専門化
- 1980.7 本社工場増築
- 1989.3 立山工場、完成・稼働
- 1994.12 株式 店頭公開
- 2000.5 株式 東証／名証 第一部指定
- 2005.3 ノイズフィルタ事業に参入
- 2011.12 中国に製造子会社「無錫科索電子有限公司」設立
- 2018.7 欧州電源メーカー「Powerbox International AB」子会社化
- 2018.10 本社R&Dセンター、完成・稼働
- 2024.4 台湾企業「LITEON TECHNOLOGY」と資本業務提携締結

コーセルの歩み(沿革)



国内販売ネットワーク



- 首都圏営業所
- 水戸営業所
- 長野営業所
- 富山営業所

- さいたま営業所
- 宇都宮営業所

- 名古屋営業所
- 静岡営業所

- 大阪営業所
- 京都営業所
- 広島営業所
- 九州営業所

グローバルネットワーク

海外販社

開発・生産拠点

スウェーデン・ストックホルム
**Powerbox
 International AB**
 電源設計・開発・生産・販売

中国・無錫
無錫科索電子有限公司
 電源装置の生産工場

ドイツ・フランクフルト
COSEL Europe GmbH

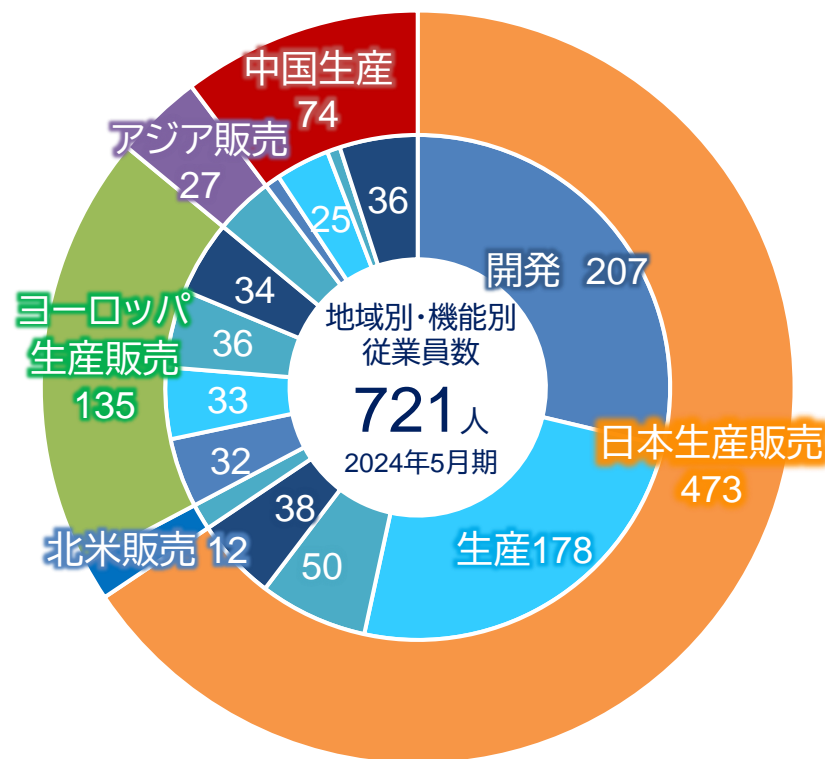
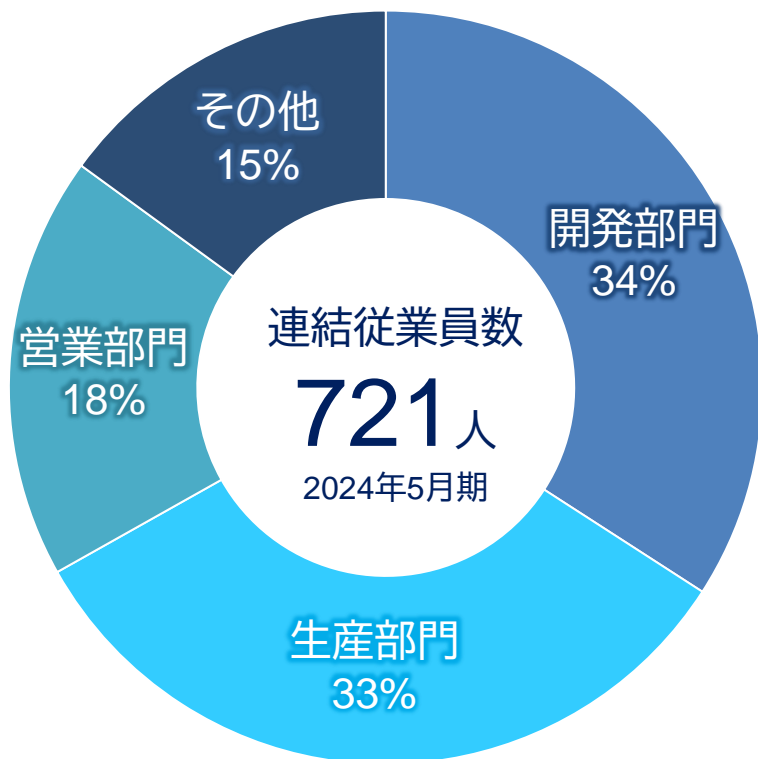
中国・上海
**COSEL(SHANGHAI)
 ELECTRONICS CO.,LTD.**

中国・香港
COSEL Asia Ltd.

アメリカ・サンノゼ
COSEL U.S.A INC.

ベトナム・ホーチミン
COSEL VIETNAM
 トランス工場

組織(従業員)構成



開発部門 246人(日本207、欧州32、中国 7)
 生産部門 236人(日本178、欧州33、中国25)
 営業部門 131人(日本 50、北米12、欧州36、アジア27)

1. 会社概要
Company profile

2. 事業内容
Our business

3. 成長戦略
Growth strategy

4. 業績動向
Performance trends

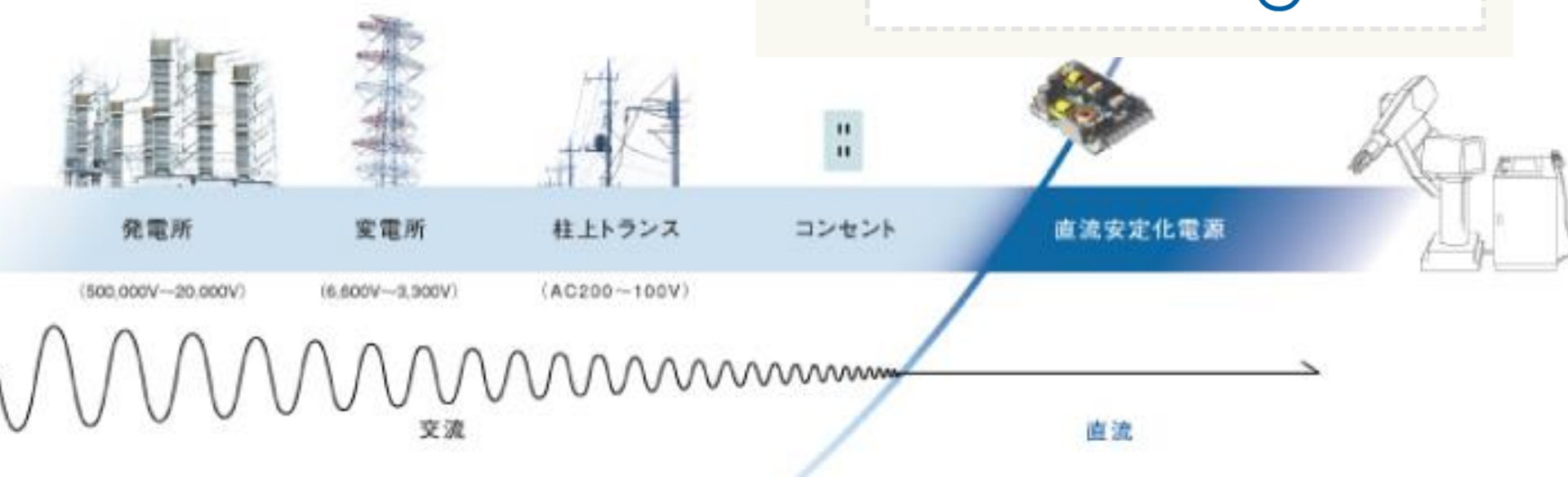
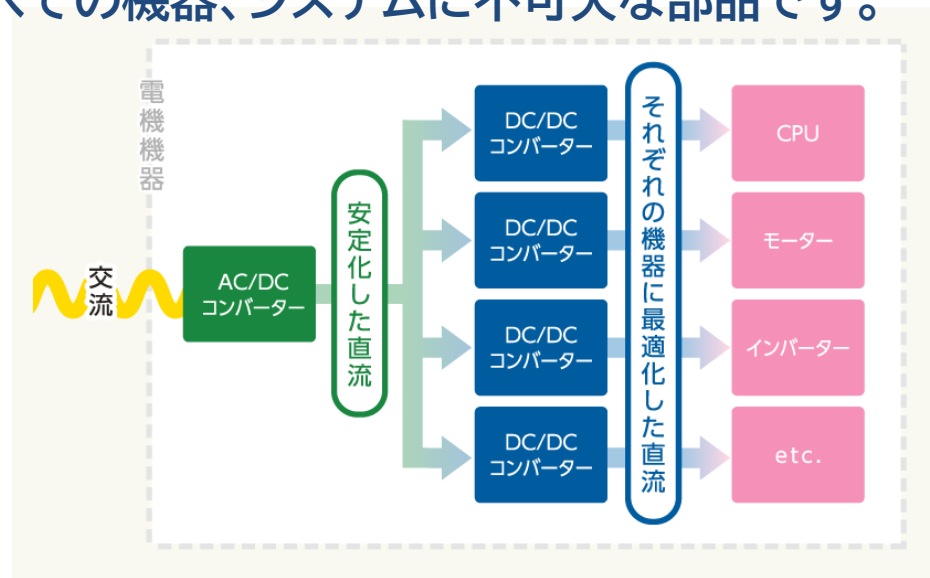
5. 株主還元
Shareholder return



「電源」とは … 電気で動くすべての機器、システムに不可欠な部品です。

発電所で作られた電気は 交流(AC) として、家庭や工場に送られてきます。
ところが、エレクトロニクス製品は 直流(DC) でないと動きません。
そこで、電気を交流から直流に変換する必要があります。→ AC-DCコンバータ

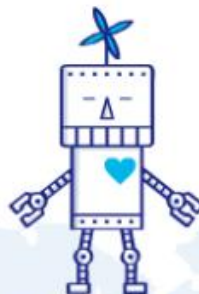
また、様々な機器に最適化した 直流(DC) に変換することも必要。→ DC-DCコンバータ



製品採用事例



01.新幹線



02.ロボット、工作機械



03.医療機器



04.情報・通信インフラ



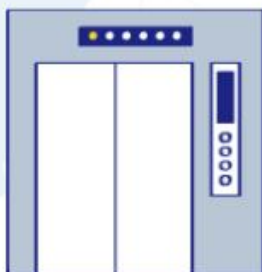
05.太陽光発電システム



06.LED表示板



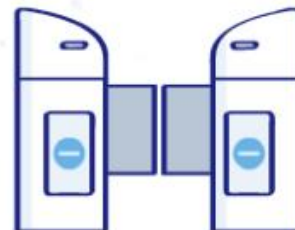
07.ATM、自動販売機



08.エレベーター



09.アダプタ



10.自動改札機

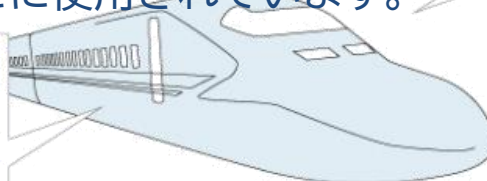


11.EV車用充電器

— 製品採用事例 —

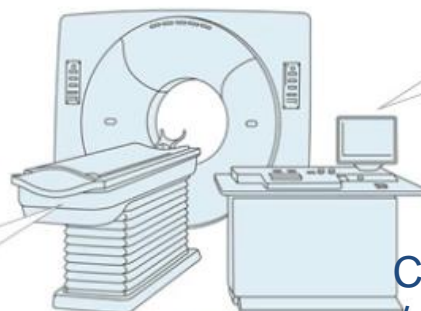
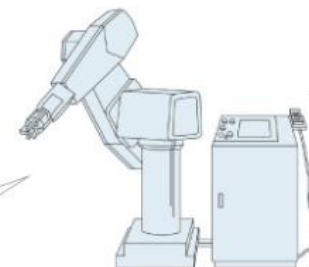
新幹線

車内表示機や空調機、自動列車停止装置システム (ATS) の電源回路などに使用されています。



ロボット、工作機械

産業用ロボットや電子部品を組み立てるチップマウンタ、半導体製造装置、プラスチック製品を作る射出成型機に使われています。



医療機器

CTスキャン、超音波診断装置、血液分析装置など、高い精度と信頼性が要求される医療機器で使われています。

コーセルの「電源」は … 大きなものから小さなものまで

ユニット電源



約**13,700**機種

オンボード電源



約**4,000**機種

ノイズフィルタ



約**1,800**機種

電源の技術動向

● 小型化

電子部品の小型化は著しく、最も小さな部品はわずか0.4×0.2×0.2mm。肉眼でかろうじて見える大きさです。そんな部品を回路パターンやレイアウトを工夫しながら高密度に配置することで、電源そのものもどんどん小さくなってきました。



● 低電圧大電流

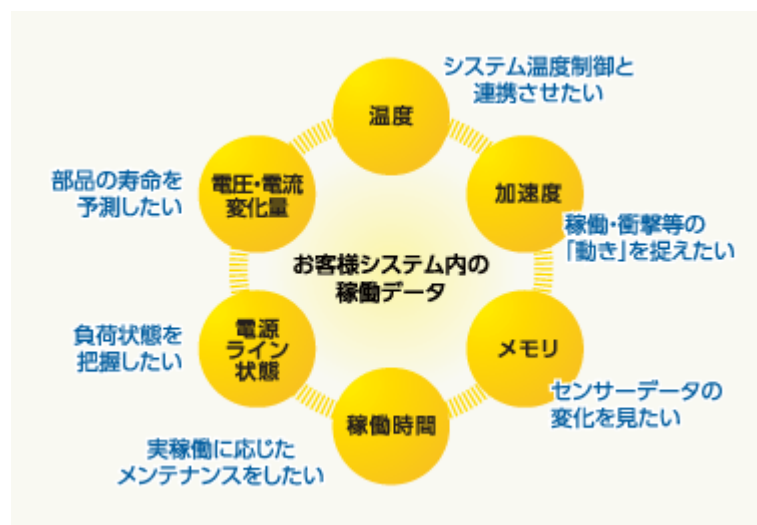
今日、ほとんどのエレクトロニクス製品にはたくさんのIC(集積回路)が使われています。ICは日々進化しており、その進化を支えているのが半導体製造の「微細化技術」です。

回路の微細化が進みIC回路が複雑化すると、消費する電流が増大します。ICの進化にともない、低い電圧で多くの電流を供給することが求められています。

● 知能を持つ電源

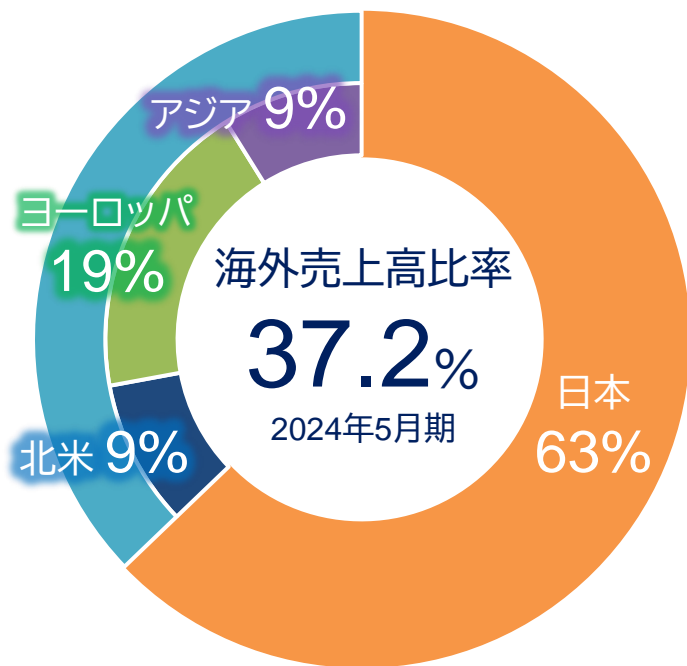
コセールは、IPS=Intelligent Power System、すなわち「知能を持つ電源システム」の開発を進めています。

電源にマイクロプロセッサを組み込むことで、様々なデータを集めたり、解析しながらシステム制御や通信機能を付加してアラームやお知らせも行える電源システムへと発展しています。



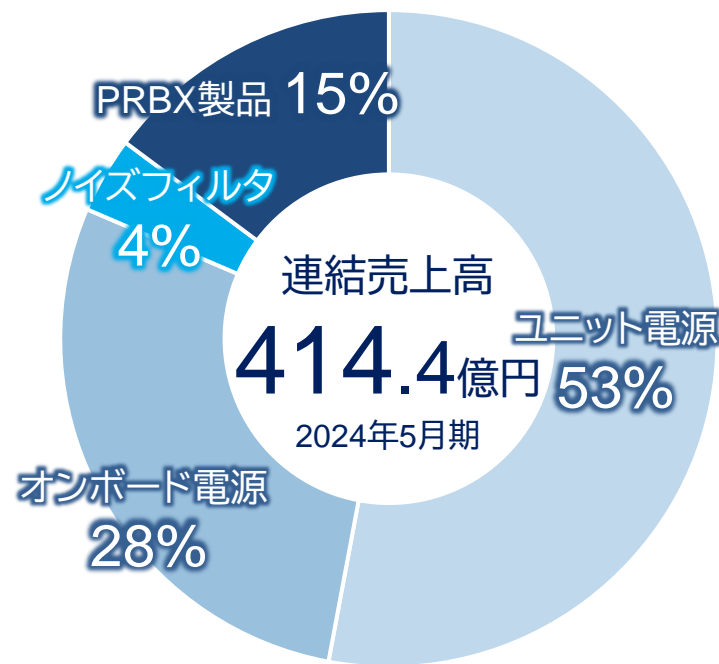
売上構成

地域セグメント別売上高



日本国内	260億円
北米	38億円
ヨーロッパ	79億円
アジア	37億円

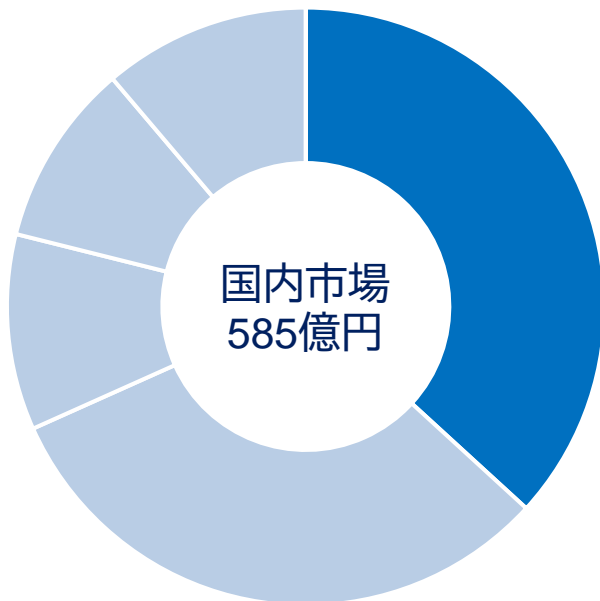
製品別売上高



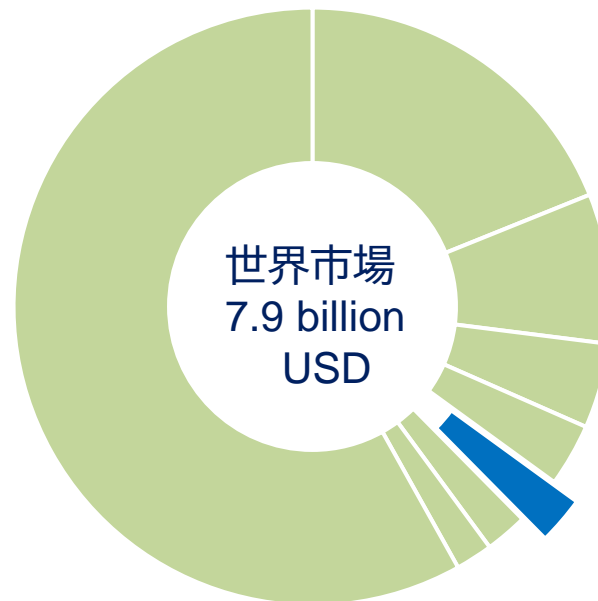
ユニット電源	219億円
オンボード電源	118億円
ノイズフィルタ	16億円
PRBX製品	61億円

※ PRBX製品 = 欧州子会社 Powerbox International ABが、開発・製造する製品群

標準電源：市場シェア ※2022年度、当社独自調査

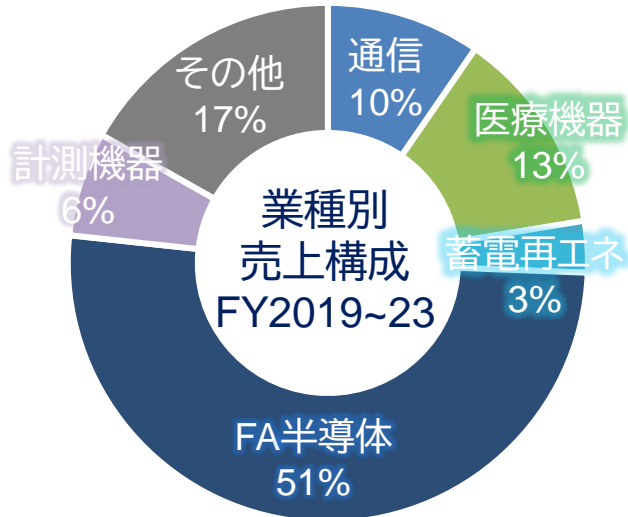


1位	コーセル	36.8%
2位	-----	31.5%
3位	-----	10.6%



1位	-----	18.9%
2位	-----	8.1%
5位	コーセル	2.6%

重点市場・業界



■ 医療機器関連業界

高齢化の進展と新興国における
医療需要拡大



■ FA・半導体製造装置業界

- ・ 人件費の上昇を背景にした自動化進行
- ・ デジタル化による半導体需要拡大
- ・ EV普及によるパワー半導体の需要拡大

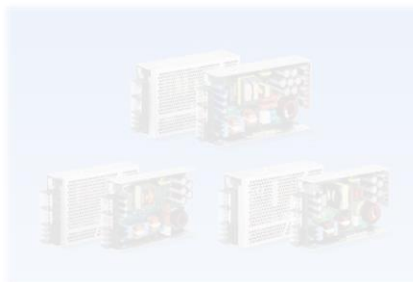


■ 蓄電・再生エネルギー関連業界

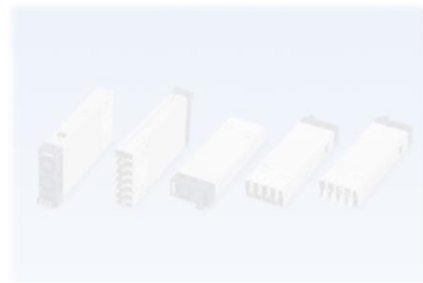
カーボンニュートラル対応による
再生可能エネルギー、省エネ関連システム、
蓄電池使用機器の需要拡大



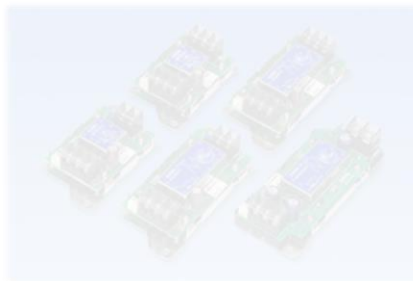
1. 会社概要
Company profile



2. 事業内容
Our business



3. 成長戦略
Growth strategy



4. 業績動向
Performance trends

5. 株主還元
Shareholder return

第10次中期経営計画

Vision

顧客起点のニーズを捉えた
付加価値のある製品とサービスをタイムリーに実現し、
スマートエネルギー社会になくてはならない存在になる

重点施策

製品の新陳代謝を促進し収益モデルの転換を図ることで、
2025年度までに高利益体質の会社に戻す

	2025年度目標	2023年度実績
重要KPI① ROE	10%	11.6%
重要KPI② 営業利益率	15%以上	16.7%

第10次中期経営計画：重点戦略 三本柱

① 適正な利益・原価管理の実現

営業利益率 2022年度 **14.0%** → 2025年度 **15.0%以上**

市場環境の変化に伴い、今後も材料原価・人件費アップが進んで行く中、販売価格の適正化に向けた利益管理の仕組み再構築し経営基盤の強化を図る。

② 新製品売上比率の向上

新製品・リリース済み新製品寄与率 2022年度 **4%** → 2025年度 **21%以上**

新製品を計画通りに開発・拡販することで、既存製品から新製品への新陳代謝を進める。この活動を通して粗利を上げ、新製品収益モデルへの転換を図る。

③ 欧州ビジネス強化

欧州売上高(C-EU・PRBX) 2022年度 **55.1** MEUR → 2025年度 **71.6** MEUR

PRBX買収の本来目的である『PRBXとC-EUのシナジー効果』を発揮し、欧州での売上を拡大する。

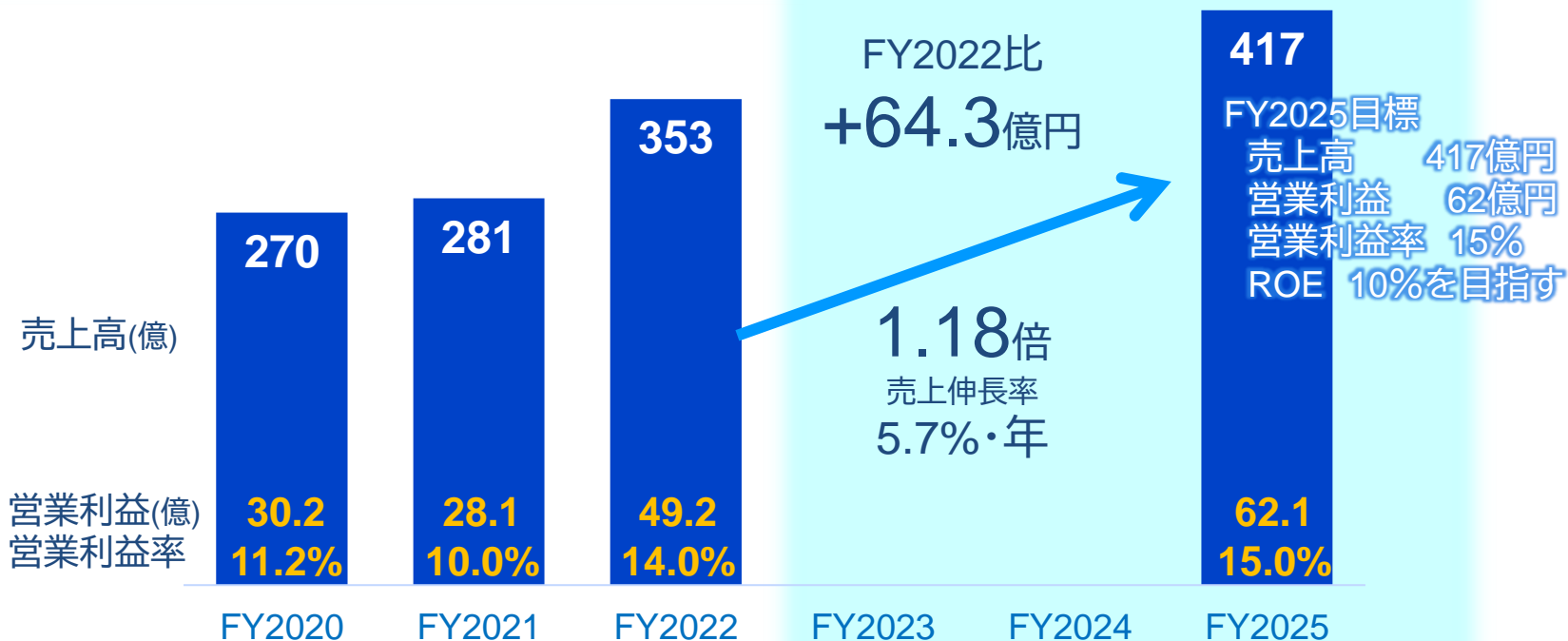
第10次中期経営計画

重点施策

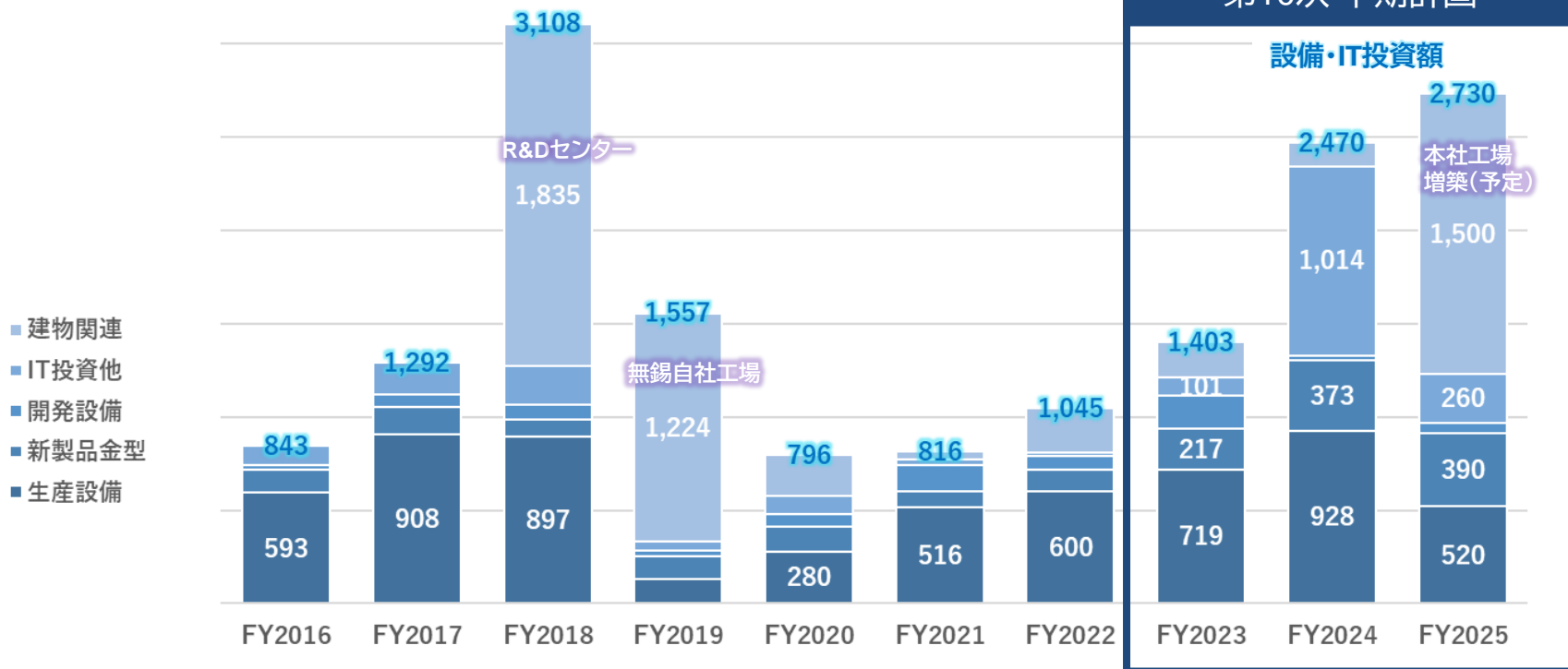
製品の新陳代謝を促進し収益モデルの転換を図り、高利益体質の会社に戻す。

重要戦略：三本柱

- ① 適正な利益・原価管理の実現
- ② 新製品売上比率の向上
- ③ 欧州ビジネス強化



第10次中期経営計画:成長投資



第10次設備投資(3年間) **総額 66 億円** (国内 **57 億円**、海外 **9 億円**)

生産能力の増強 約 22億円

本社工場増改築 約 15億円

新製品拡充、スピードアップ 約 12億円

IT・DX投資、脱炭素・カーボンニュートラル 約 17億円

LITEON TECHNOLOGYとの資本業務提携について



LITEON TECHNOLOGYとの資本業務提携

コーセル本社 ●



LITEON
TECHNOLOGY

● 本社 台湾 台北市

LITEON TECHNOLOGY

- 創業 1975年
- 売上高(2023年度) 7,046億円
- 営業利益(2023年度) 688億円
- 従業員数 (2023年度末時点) 29,567人
- 台湾証券取引所 #2301



LITEON 主力製品



ACアダプター



スマホ充電器



パソコン用電源



データセンター用電源

資本業務提携の内容

コーセル株式19.99%を保有

資本提携

売上高 7,046億円/年

LITEON[®]

3,128億円/年

2,465億円/年

1,453億円/年

情報・民生向け
電子機器

クラウド
AIoT

LED関連
(車関連含む)

民生機器用
電源

ネットワーク
機器

LED素子

キーボード
マウス

サーバー機器

EVチャージャ

光ディスク
ドライブ

カメラ機器

車載カメラ

売上高 414億円/年
(2023年度実績)

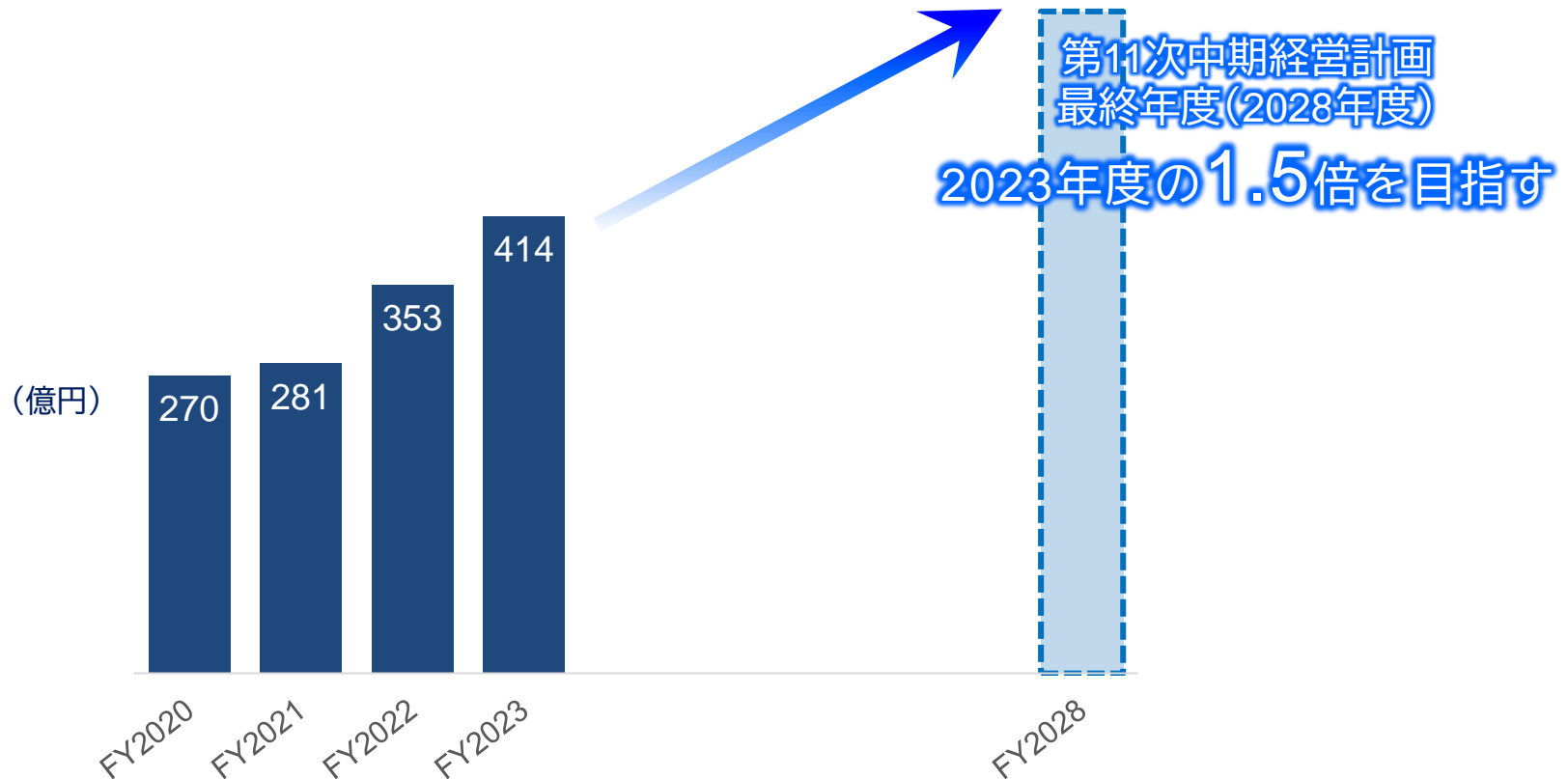
COSEL
電源事業

「電源事業」を
軸に業務提携

- 第三者割当による新株式の発行、自己株式処分によりLITEONが筆頭株主
- LITEONから取締役 1名を受入れ（両社の関係性強化）
- LITEON推薦の社外取締役 1名（ガバナンス体制の強化）

LITEONとの業務提携に伴う売上拡大効果

- クロスセル（お互いの製品を拡販） → 海外売上シェアの拡大
- 再エネ分野（新規分野への参入） → 日本での売上拡大し、海外へ展開
- M&Aによる電源ビジネス強化 → 日本、米国を優先検討



コーセルとLITEONの共同ビジョン

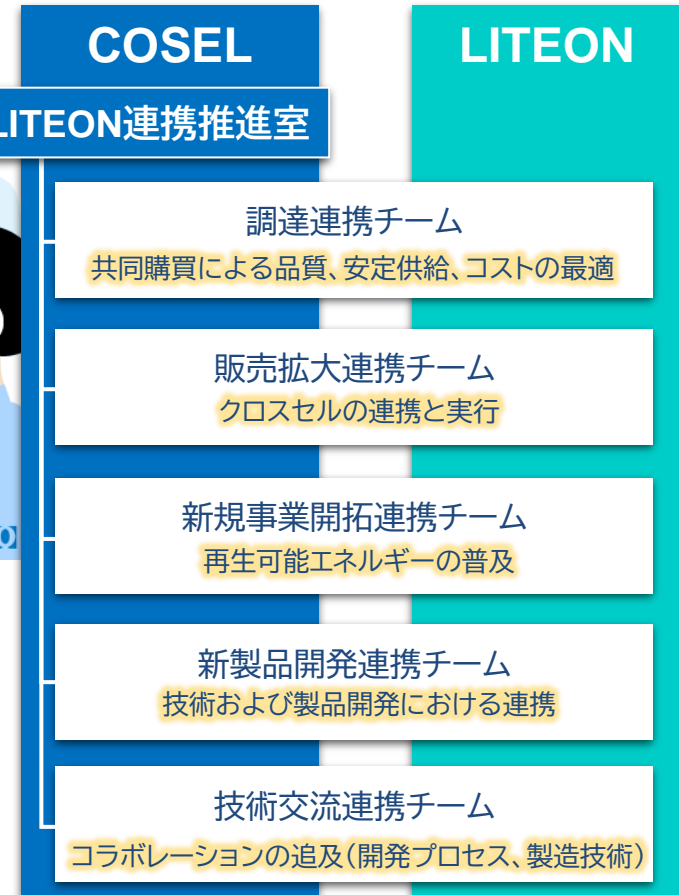
Our vision 共同ビジョン:

Become a worldwide leading brand in standard power solution

世界的な標準電源ソリューションのリーディングブランドになる

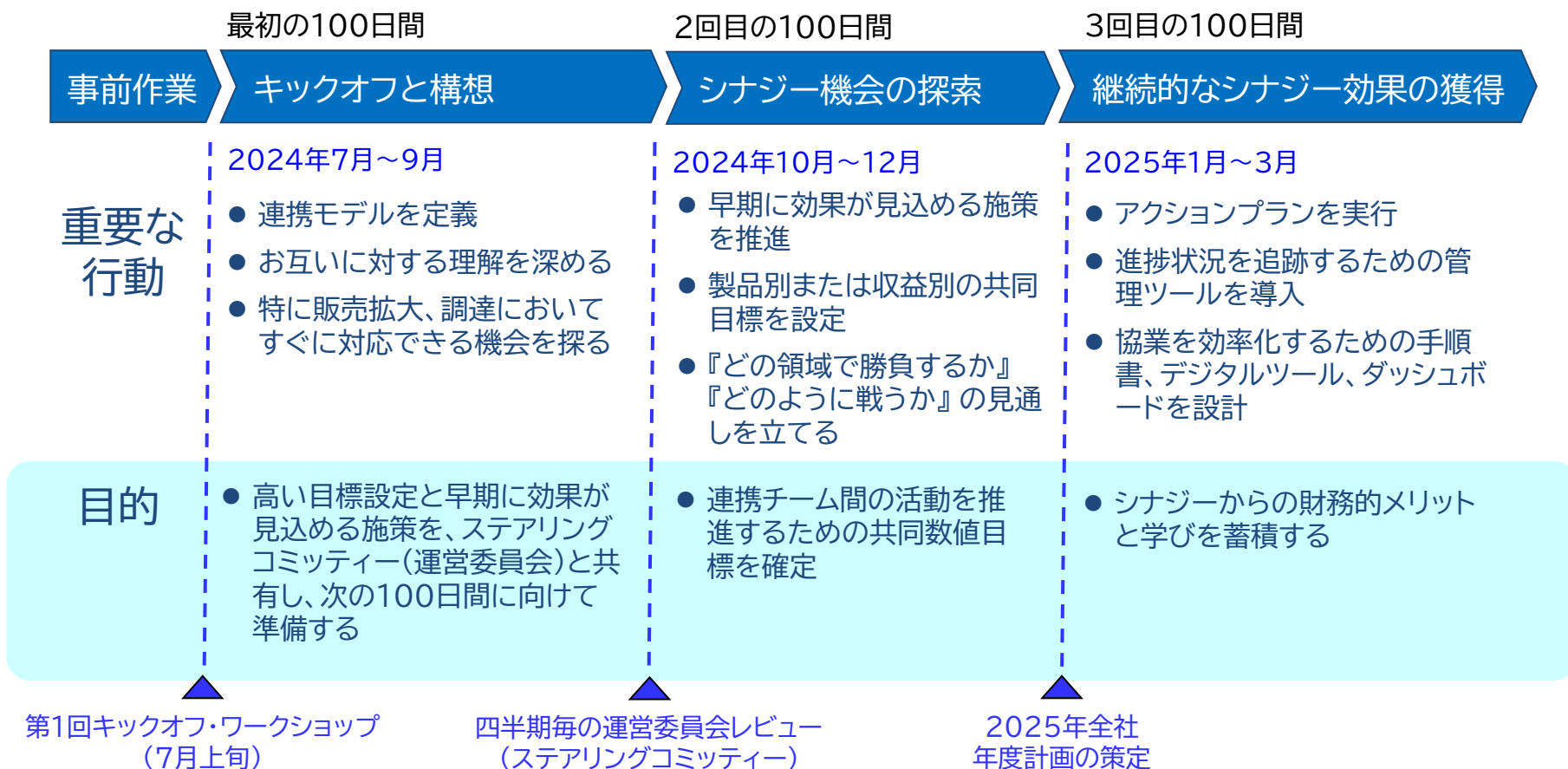
成爲世界級的標準電源領導品牌

...by leveraging complementary capabilities between COSEL and LITEON
...によるCOSELとLITEONの補完的な能力を活用することによって



Working group

両社から連携チームを編成し、100日間のフェーズを通じて、 中・長期的なシナジー効果(目標)とアクションプランを追求中。



持続可能な社会の実現への貢献

《サステナビリティ基本方針》

私たちは、経営理念である「品質至上を核に社会の信頼に応える」のもと、以下の重点課題に取り組むことで継続的に企業価値を高め、持続可能な社会の実現に貢献します。

- “技術革新”と“モノづくり”で新たな価値を創出し、社会問題・課題の解決を図ります
- 価値創造に挑戦する多様な社員の能力を引き出し、活かす組織・人財マネジメントを推進します
- 気候変動リスク／環境負荷低減を推進し、脱炭素社会の早期実現を目指します
- 法令を遵守し、ステークホルダーへの適切な情報開示と対話を通して、公正かつ透明性の高い経営を実現します

“持続可能な社会の実現”に貢献する！

SDGs (2015.9～) Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標

人(個人)、企業として17のゴール(目標)、169のターゲットに何ができるか

ESG (2006～) Environment, Social, Governance

環境、社会、企業統治

企業の取り組み、情報開示 → 機関投資家が投融資先企業の持続可能性を評価

CSR (1990～) Corporate Social Responsibility

企業の社会的責任

企業が果たすべき責任、ステークホルダーとの信頼関係構築のために何をすべきか



持続可能な社会の実現への貢献

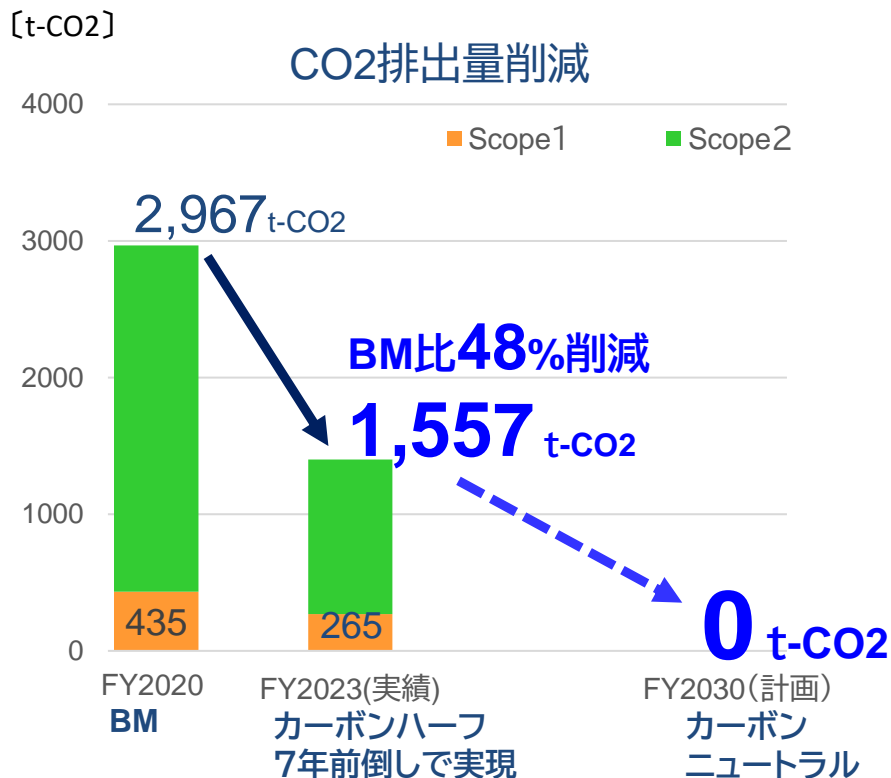
「持続可能な社会の実現」に向け、ESG視点からの重要課題の解決、達成を図る。

	ESG重要課題	取り組みテーマ	関連するSDGsゴール
E	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動リスク低減 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動リスク抽出／分析、TCFDに基づく情報開示の充実 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div>
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 脱炭素化の推進（対象：Scope1, 2） <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量の削減 ・ 埋立処分廃棄物の削減（ゼロエミッションの実現） 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div>
S	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人財の能力を引き出し、活かす組織・風土づくり 経営戦略と人事戦略の連動 ■ 従業員エンゲージメント向上 企業理念や企業の存在価値、企業文化などの浸透・定着 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人財の能力を引き出し、活かす組織・風土づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍在職者の増加 ・ 女性管理職比率の向上 ・ 男性育児休業取得率の向上 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> </div> </div>
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業文化、価値観「COSELMind」の浸透 	<div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div>
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 人的資本の開示情報の充実 	<div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> </div>
G	<ul style="list-style-type: none"> ■ コーポレート・ガバナンス体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役会の実効性強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会運営方針、課題設定の共有 ・ 社外取締役との意見交換 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>16 平和と公正を すべての人に</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div>
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営における意思決定の透明性向上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役会における多様性確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役選任・解任の基準、プロセス明確化 	

再生可能エネルギー100%のモノづくり ~CO2排出量削減~

[取り組み目標 対象:Scope1,2]

カーボンニュートラル実現 → 2030年 0 t-co2



[重点取り組み]

1. 省エネ活動

- ・エアコン効率アップ(フィルタ清掃)
- ・計測機器の待機電力低減

2. 設備投資・・・150百万円/年

- ・太陽光発電設備 効率アップ(更新)
- ・空調機器の高効率化(更新)

3. エネルギーインフラ見直し

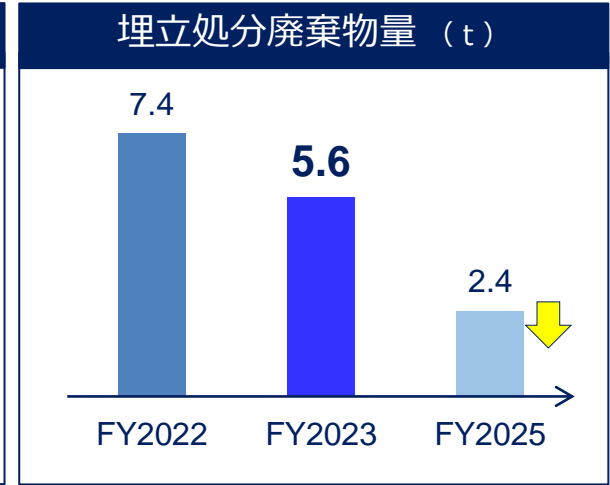
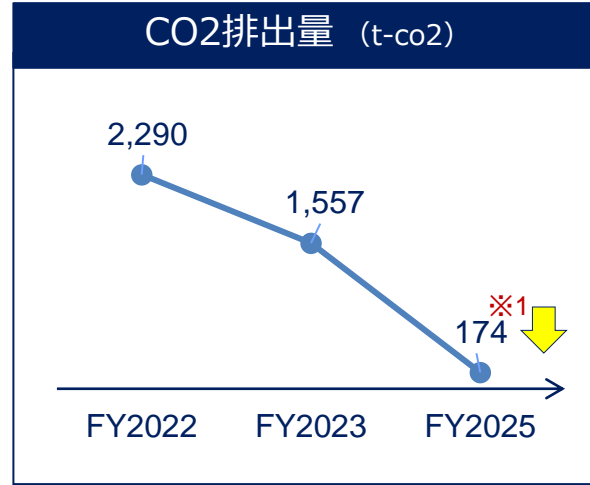
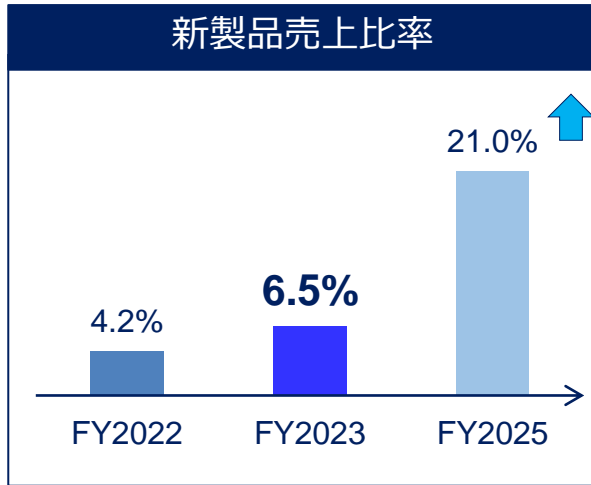
- ・CO2フリー電力導入
- ・オフサイトPPA(太陽光発電)の活用

今後、コーセルグループとしての取り組みを強化していく

重要経営指標(非財務指標)

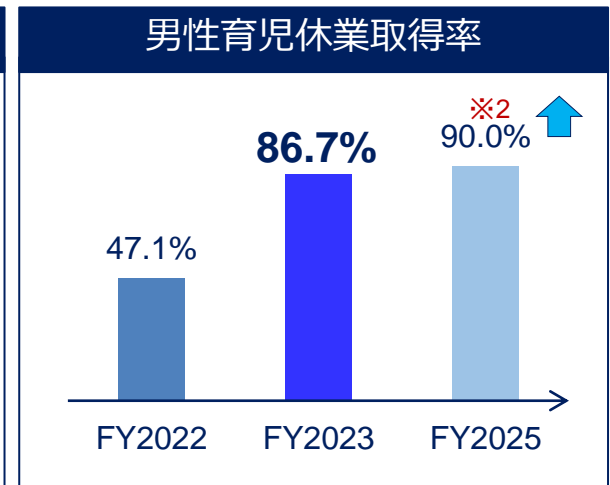
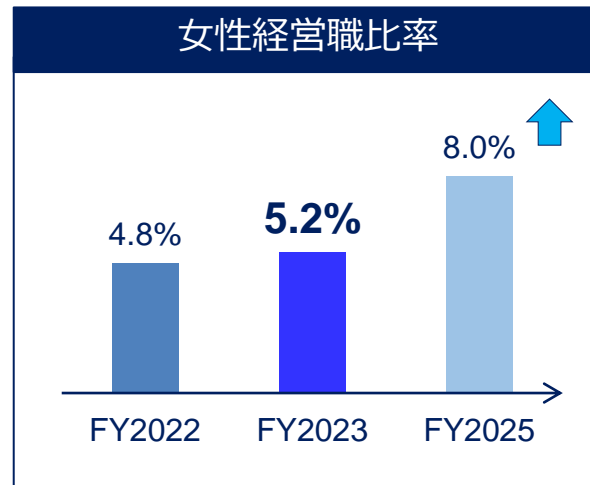
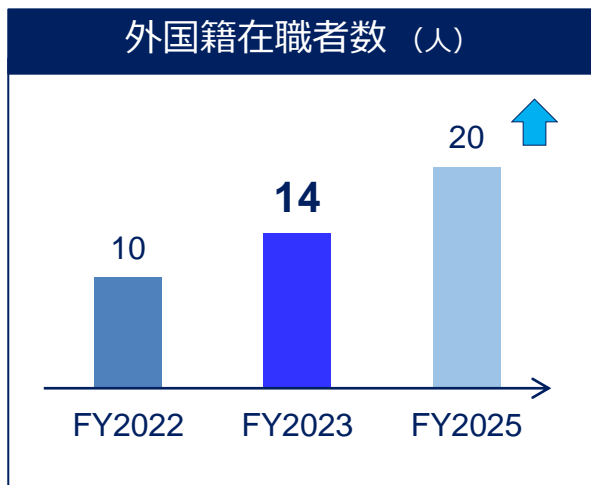
■ 顧客価値につながる製品・サービスの創出

■ カーボンニュートラルの実現



※1. 目標見直し、2030年にカーボンニュートラル前倒し

■ 多様な人財の能力を引き出し、活かす組織・風土づくり



※2. 目標見直し、FY2023実績から

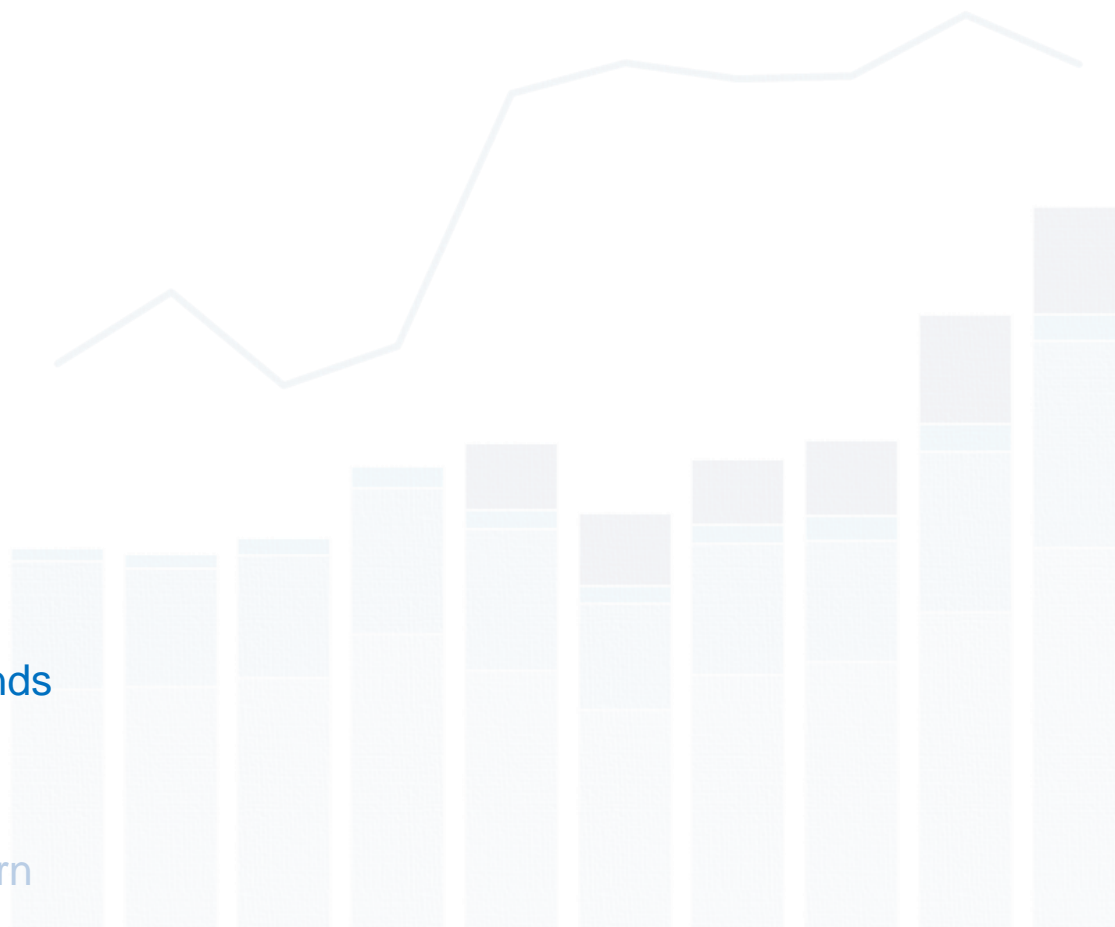
1. 会社概要
Company profile

2. 事業内容
Our business

3. 成長戦略
Growth strategy

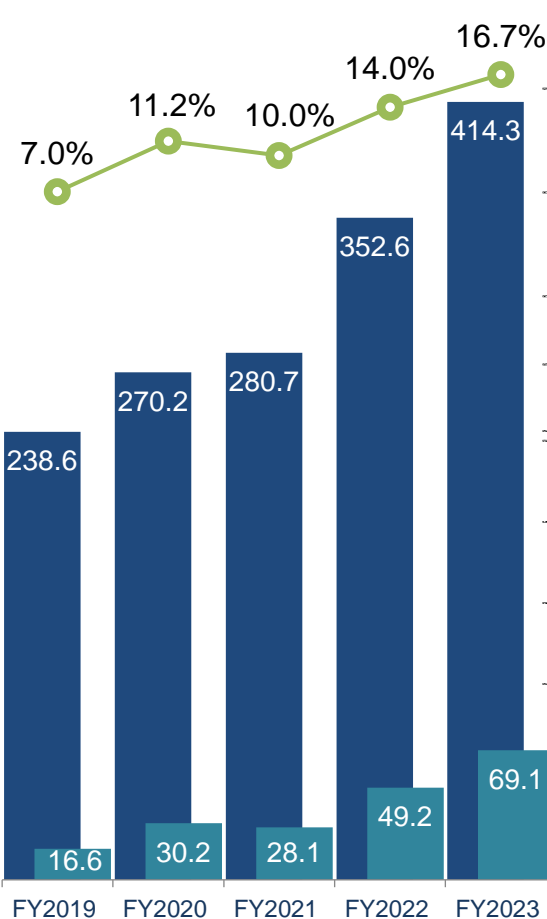
4. 業績動向
Performance trends

5. 株主還元
Shareholder return



FY2023 連結経営成績

- 売上高(億円)
- 営業利益(億円)
- 営業利益率(%)



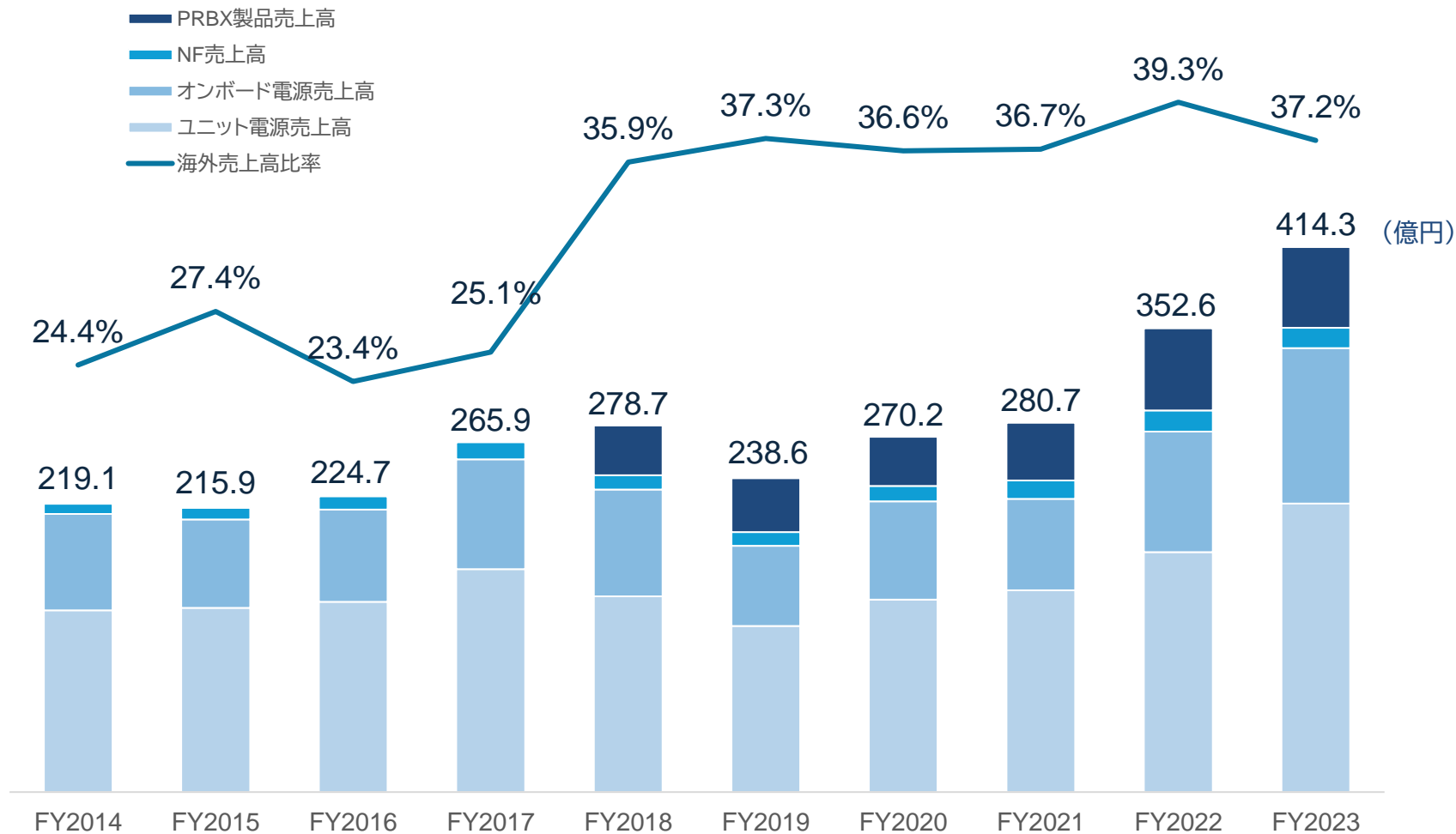
(単位:百万円)	FY2022	FY2023		前年同期比較	
		計画	実績		計画比
売上高	35,266	40,030	41,437	+1,407 +3.5%	+6,170 +17.5%
営業利益 営業利益率	4,926 14.0%	6,488 16.2%	6,912 16.7%	+424 +6.5%	+1,986 +2.7p
経常利益 経常利益率	5,273 15.0%	7,301 18.2%	7,850 18.9%	+549 +7.5%	+2,576 +3.9p
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,162	5,002	5,169	+167 +3.3%	+2,006 +63.5%
EPS	93.55円	150.88円	155.87円	+4.99円	+62.32円
ROE	7.6%	11.4%	11.6%	+0.2p	+4.0p
期中平均 USDレート (下期想定レート)	136.15	141.86 (140.00)	146.26		
期中平均 EURレート (下期想定レート)	141.79	154.19 (153.00)	158.29		
期中平均 SEKレート (下期想定レート)	13.02	13.51 (13.70)	13.75		

連結売上高計画: **400.3 億円以上**
 実績: **414.3 億円**

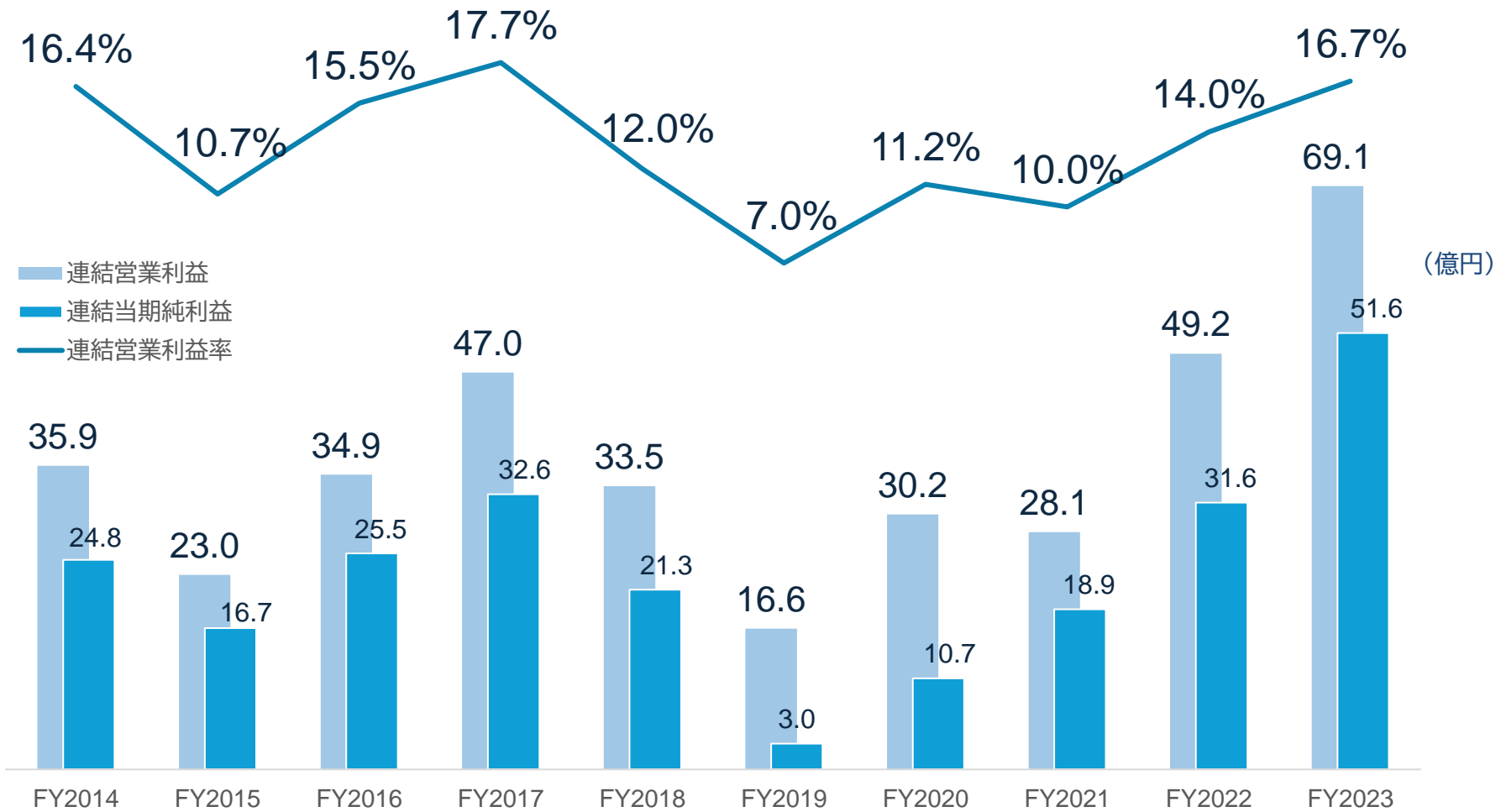
前年同期比
+17.5%

営業利益率 **16.7%** **+2.7p**
 経常利益率 **18.9%** **+3.9p**

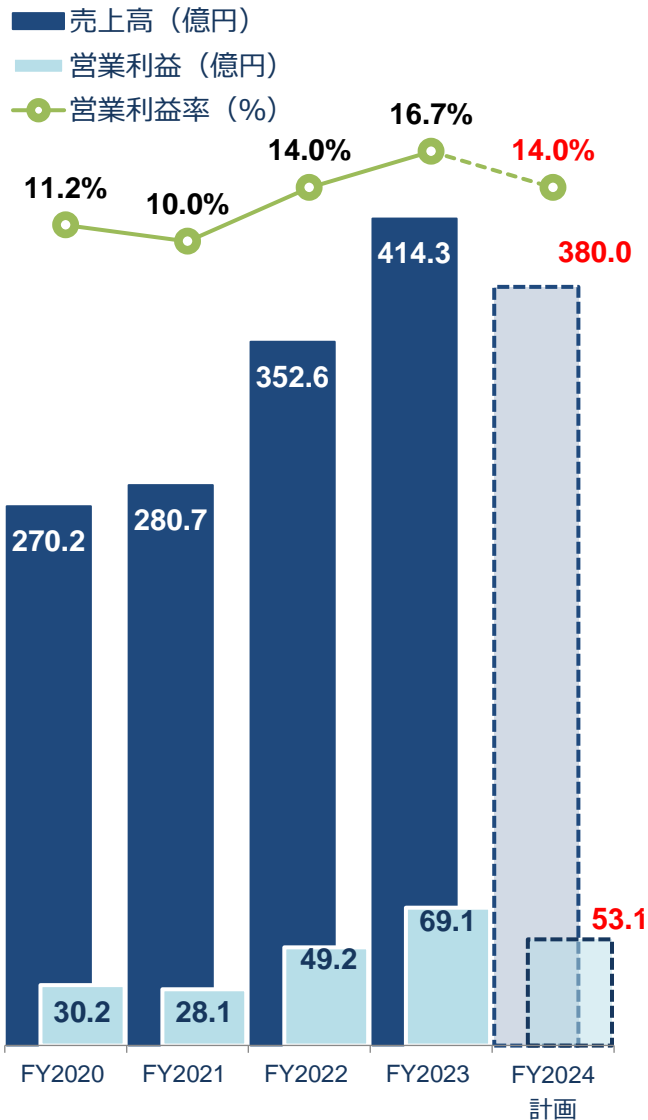
連結売上高および海外売上高比率推移



連結利益推移



FY2024 連結利益計画



(単位:百万円)	FY2023 実績	FY2024 計画	増減率
売上高	41,437	38,000	▲ 8.3%
営業利益 営業利益率	6,912 16.7%	5,319 14.0%	▲ 23.1% ▲ 2.7p
経常利益 経常利益率	7,850 18.9%	5,444 14.3%	▲ 30.6% ▲ 4.6p
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,169	3,692	▲ 28.6%
EPS	155.87円	111.32円	▲ 44.55円
ROE	11.6%	7.6%	▲ 4.0p
期中平均 USDレート	146.26	147.00	
期中平均 EURレート	158.29	160.00	
期中平均 SEKレート	13.75	14.00	

連結売上高目標：380.0億円以上

前年同期比

▲ 8.3%

営業利益目標：53.1億円以上

▲ 23.1%

1. 会社概要
Company profile

2. 事業内容
Our business

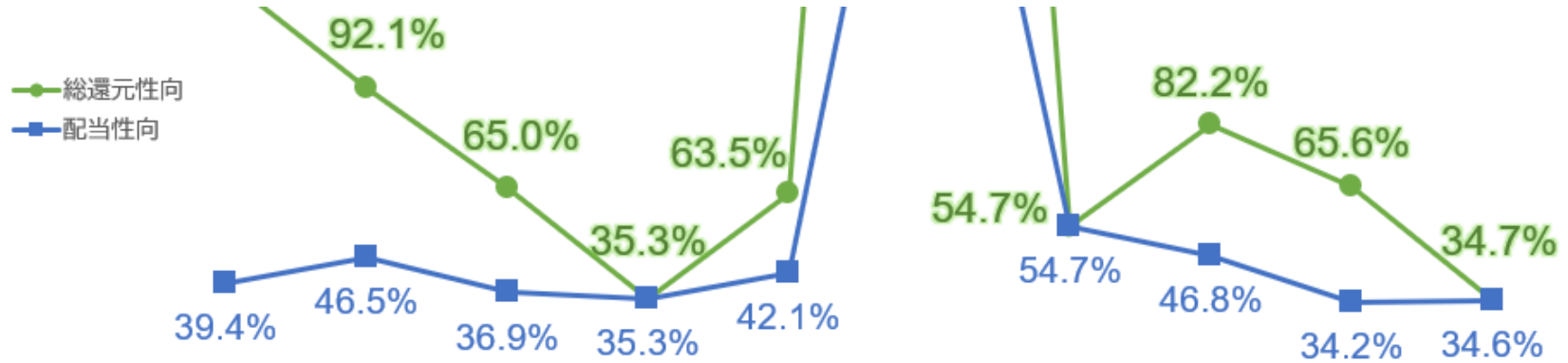
3. 成長戦略
Growth strategy

4. 業績動向
Performance trends

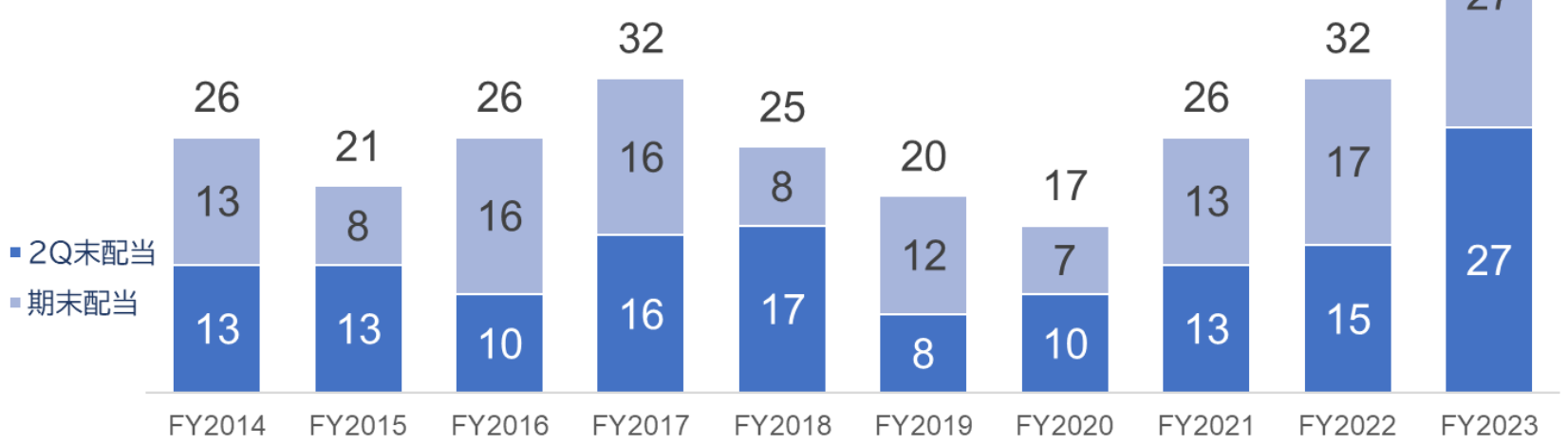
5. 株主還元
Shareholder return

株主還元 実績トレンド

FY2019 コロナ感染症景気減速、当社業績悪化、のれん減損
 総還元性向 557.0%
 配当性向 228.9%



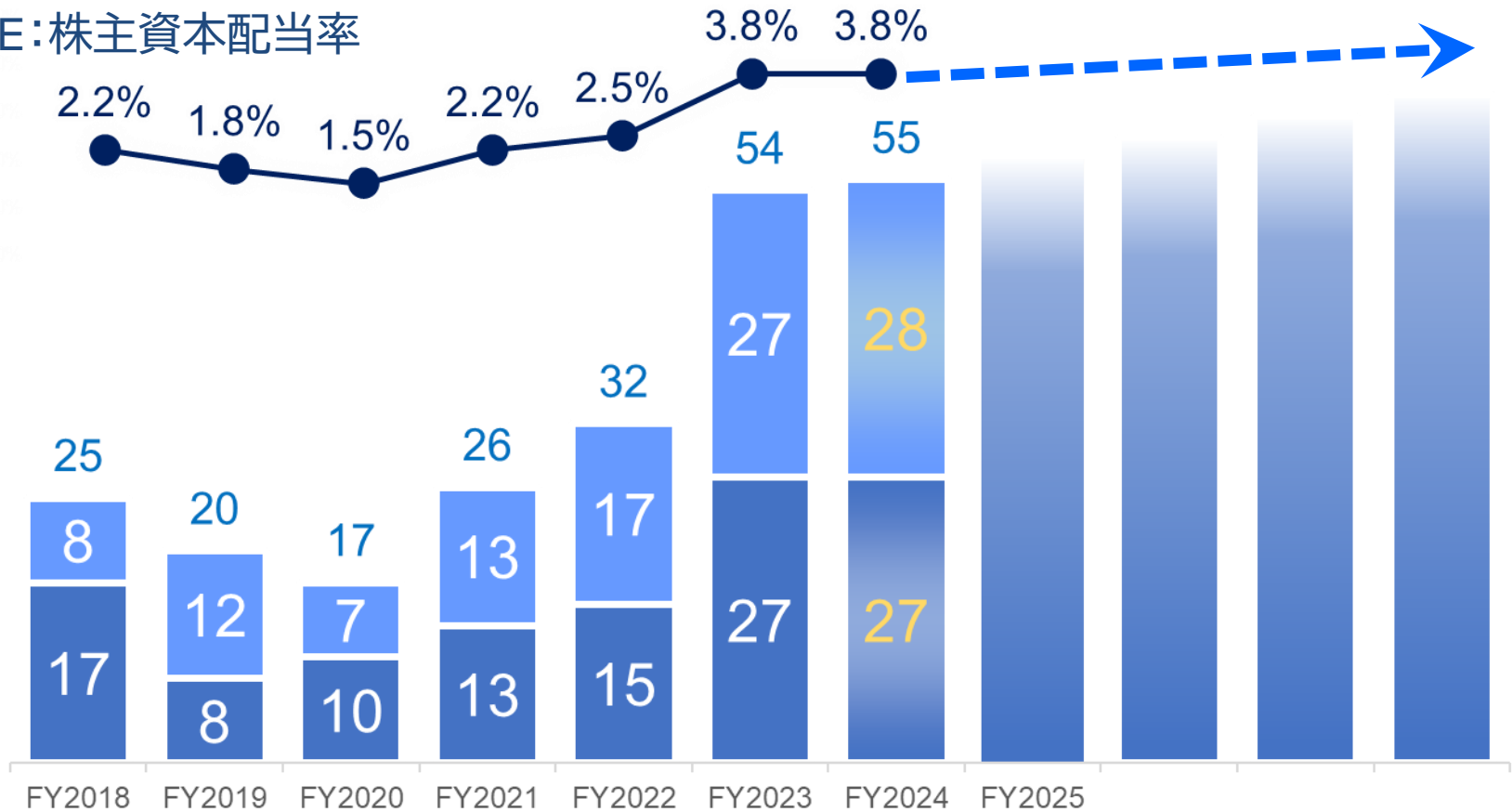
資本効率向上を目的とした機動的な株主還元
配当性向(連結) 35%を目処



配当方針の変更

配当性向(連結) **35%** → **DOE:株主資本配当率 3.5%**を目処に
継続的かつ安定的な配当

DOE:株主資本配当率





電気をキレイに流す心臓

それは、見えない不可欠。

超高速、超高精度、超安定。スイッチング電源の世界ブランド。

COSEL

**ONLINE
EXHIBITION**
オンライン展示会

<https://exhibition.cosel.co.jp/>

WEB工場見学

<https://factorytour.cosel.co.jp/>

<注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。